

 **ながさきピース
文化祭2025**

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
令和7年9月14日(日)→11月30日(日)

奈留島でのそらあみの様子



頭ヶ島天主堂

写真提供: (一社) 長崎県観光連盟

文化芸術による 地域づくりフォーラム〔文化的処方〕 & 文化体験ツアー

フォーラム

令和7年11月22日(土) 福江文化会館

文化体験ツアー

令和7年11月23日(日・祝) → 24日(月・振休)

主催 文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、
第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会

共催 五島市教育委員会(フォーラム)

問合せ 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・
文化祭長崎県実行委員会
TEL 095-895-2771

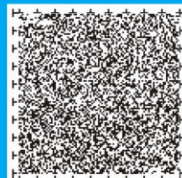
ながさき
ピース文化祭
公式 WEB サイト



音声コード
Uni-Voice



専用読み取り装置やスマホ
アプリを利用して情報や音声
で聞くことができます。



文化芸術による 地域づくりフォーラム 【文化的処方】

日時

令和7年11月22日(土)

14:30～16:30(予定)

場所

福江文化会館
(五島市池田町1-2)

参加料

無料

「文化的処方」とは、絵を描いたり、音楽を聴いたりすることなどあらゆる文化的活動を、心と体の健康に役立てようとする取り組みです。文化・芸術の力で、人と人のつながり、地域とのつながりを深め暮らしたくなるまちづくりにつなげていきます。



参加者には
先着300名様に
かんころ餅プレゼント

オープニング

念仏踊り チャンココ 出演：上大津青年団

福江島で800年以上続く伝統芸能披露

基調講演

テーマ：「アートは生きる力」

講師：東京藝術大学学長・アーティスト

日比野克彦 氏

東京藝術大学の日比野学長が自身の研究テーマである「アートは生きる力」について熱く語ります。



パネルディスカッション



奈留島でのそらあみ制作の様子

「アートで地域を元気に！」

五島列島での地域住民との「そらあみ」制作や、小値賀町での文化芸術活動の取り組み、アートによる障害者の社会参画などについて様々な分野で活躍する4人による貴重なトークをお楽しみください。

コーディネーター：日比野克彦 氏

パネリスト：五十嵐靖晃 氏 (アーティスト)

石丸 徹郎 氏 (ISIAL 代表)

横山 桃子 氏 (布袋座二〇一九事務局長) ※50音順

申込み・問合せ

株式会社マルクス・インターナショナル
〒850-0036 長崎県長崎市五島町3-13-1F
TEL 095-829-7707 FAX 095-829-7717
E-mail :bunka@09su.com

受付は
こちらから!

ながさきピース文化祭2025
文化芸術による
地域づくりフォーラム



※TEL、FAX、
メールでも
申込み可能です。

会場のご案内

福江文化会館
〒853-0018 長崎県五島市池田町1番2号
TEL 0959-72-2161



主催 文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会

共催 五島市教育委員会

問合せ 文化芸術による地域づくりフォーラム事業受託業者(株式会社マルクスインターナショナル TEL 095-829-7707)

ながさき
ピース文化祭
公式WEBサイト





チャンココ(五島市)

〈伝統芸能〉チャンココ

「チャンココ」は五島市を中心に伝わる古い念仏踊りで、語源は「チャン」が鉦(かね)の音、「ココ」は太鼓を叩く音であろうといわれています。

毎年旧盆の8月13日～15日の間、市内各所で踊りを見ることができます。

踊り手たちは各町内より繰り出し、初盆の家の前とお墓で先祖の御霊を鎮めます。

半袖襦袢に素足のまま花笠をかぶり、腰みのをつけて太鼓を抱き、重鉦(オモガネ)と小鉦(レイコ)の音と歌声に合わせて舞い踊る南方系の情緒を漂わせるエキゾチックな踊りは、県指定無形民族文化財となっています。

PROFILE



基調講演
パネルディスカッションコーディネーター

ひびの・かつひこ

日比野克彦氏

©東京藝術大学学長・アーティスト

1958年岐阜県生まれ。

東京藝術大学大学院美術研究科修了。

国内外で領域を横断する多彩な活動を展開。

2022年より東京藝術大学長に就任し、現在、岐阜県美術館、熊本市現代美術館の館長なども務める。現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、学外との連携なども積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続ける。



©Manami Takahashi

パネルディスカッションパネリスト

いがらし・やすあき

五十嵐靖晃氏

©アーティスト

1978年千葉県生まれ。

東京藝術大学大学院美術研究科修了。

人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。

アートとは「自然と人間の関わり方の術」であると考えている。

2019年から五島列島の奈留島を中心に地域住民との「そらあみ」制作に取り組んでいる。



パネルディスカッションパネリスト

いしまる・てつろう

石丸 徹郎氏

©ISIAL代表

1981年長崎県佐世保市生まれ。

家にお風呂がない共同住宅が集まる小さな島「池島」で育つ。

数少ない遊び道具だった組立ブロック玩具に夢中になり、想像を形にする喜びを知る。広告や音楽、イベントの世界で経験を積み、26歳で制作会社を創業。障がいのある方からの「僕らが、夢を持って働ける未来はあるんですか?」という言葉に心を動かされ、福祉の世界へ。障がいのある人が誇りを持てる仕事を生み出し、ものづくりやアート、観光との協業、在宅やバーチャル支援、アクセサリーやアウトドアのブランド展開など多様な挑戦を続けている。



パネルディスカッションパネリスト

よこやま・ももこ

横山 桃子氏

©OJIKAPPAN

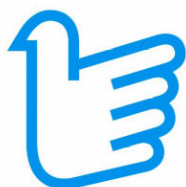
布袋座二〇一九事務局長

1988年長崎県北松浦郡小値賀町生まれ。

岡山県立大学デザイン学部卒業。

東京の編集プロダクションに勤めた後、23歳で小値賀島へUターン。100年続く家業の「晋弘舎」で4代目として活版印刷業に携わる。2018年自身の工房「OJIKAPPAN」を起業。

2019年に文化芸術振興団体「布袋座二〇一九」を町内の有志で立ち上げ、小値賀島と活版印刷を後世に残し伝えていくための活動に邁進。



文化をみんなに

ながさきピース文化祭2025

第40回国民文化祭

第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年

9月

14日

日

→

11月

30日

日

◎

◎

◎

◎

◎

◎

◎

◎

◎

ながさきピース文化祭2025は「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称(愛称)です。令和7年9月14日(日)から11月30日(日)までの78日間、「文化をみんなに」をキャッチフレーズに掲げ、長崎県全域で180を超える多彩な文化イベントを開催します。



ながさきピース文化祭2025

文化体験ツアー

五島市、新上五島町、小値賀町それぞれの島の歴史や食などの文化を体験、鑑賞するフォーラム参加者向けのツアーです。

日程 令和7年11月23日(日・祝) → 24日(月・振休)

参加料 九州商船のホームページをご覧ください。



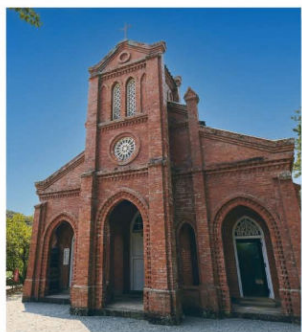
江上天主堂(五島市)

各コースのご案内 ※コースは変更となる場合があります。



福江島コース

11月23日(日・祝)



堂崎天主堂(五島市)

- 堂崎天主堂
- 明星院本堂
- 鏝瀬溶岩海岸
- 昼食
(五島うどん)
- 山本二三美術館
- 島の民俗芸能祭

五島列島



奈留島コース

11月23日(日・祝)～24日(月・振休)



そらあみ(五島市)

- そらあみ完成式及び見学
(千畳敷 ほか)
- 江上天主堂
- 昼食
(奈留島御膳)
- 三兄弟工房
(木工体験)

五島列島



上五島コース

11月23日(日・祝)～24日(月・振休)



青方教会コンサート(新上五島町)

- 蛤浜海水浴場
- 頭ヶ島天主堂
- 昼食
(海鮮丼と地獄炊き)
- 教会コンサート
- 矢堅目公園
- 神楽見学

五島列島



小値賀コース

11月23日(日・祝)～24日(月・振休)



小値賀町歴史民俗資料館(小値賀町)

- 重要文化的景観の
笛吹街歩き
- 歴史民俗資料館
- 活版印刷所見学
- ofuroba見学
(アートギャラリー併設)

小値賀

五島列島



申込み

九州商船ホームページ内の旅行プランにアクセス



九州商船

〒850-0035 長崎県長崎市元船町16-12
ホームページ <https://kyusho.co.jp/plan/5748>



お得なパックツアー

フォーラム参加と文化体験ツアーに長崎から五島への船便・宿泊がセットになったパックツアーをご用意しています!